

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月17日(2011.2.17)

【公開番号】特開2010-94151(P2010-94151A)

【公開日】平成22年4月30日(2010.4.30)

【年通号数】公開・登録公報2010-017

【出願番号】特願2008-264943(P2008-264943)

【国際特許分類】

A 4 7 J 27/00 (2006.01)

【F I】

A 4 7 J 27/00 1 0 3 N

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月24日(2010.12.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

加熱手段を有し、内釜が着脱自在に収容される本体と、  
表示部を収容する基板室を有し、前記本体にヒンジ結合されて前記内釜の上部開口を開閉自在に閉塞する蓋体と、  
調理中に前記内釜内の被加熱物から発生する蒸気を冷却して復水する水タンクとを備え、  
前記水タンクは、前記蓋体のエリア内に収まるように配置され、  
前記基板室は、一部が前記水タンクのエリアにかかるように配置されてなることを特徴とする炊飯器。

【請求項 2】

前記基板室は、その占有面積の少なくとも 1 / 3 以上が前記水タンクのエリアにかかるように設定されてなることを特徴とする請求項 1 記載の炊飯器。

【請求項 3】

前記水タンクを、前記本体の蓋体ヒンジ部を除く部位に配置したことを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 記載の炊飯器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明に係る炊飯器は、加熱手段を有し、内釜が着脱自在に収容される本体と、表示部を収容する基板室を有し、本体にヒンジ結合されて内釜の上部開口を開閉自在に閉塞する蓋体と、調理中に内釜内の被加熱物から発生する蒸気を冷却して復水する水タンクとを備え、水タンクは、蓋体のエリア内に収まるように配置され、基板室は、一部が水タンクのエリアにかかるように配置されてなるものである。